中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調查対象期間:令和3年度第1四半期(令和3年4月~6月期)

調査対象企業:150企業 **回答企業**:149企業

(製造業:30社 建設業:20社 小売業:41社 サービス業:58社)

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係



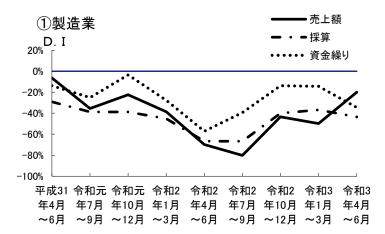
1. 業況判断DIと天気図(2年間の推移)

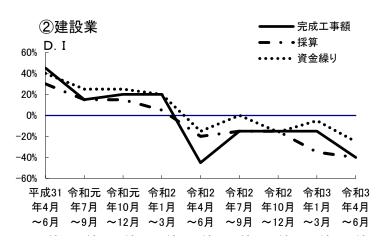
	業種別	①製造業		2建設業		③小売業		④サービス業		全体	
期別	平成31年 4~6月期	<u></u>	▲ 23.4	\Diamond	30.0	·	4 5.0	<u></u>	▲ 12.1	<u></u>	▲ 12.6
	令和元年 7~9月期	4	▲ 36.7	\Diamond	20.0	·	4 1.0		▲ 15.2	E	▲ 18.2
	令和元年 10~12月期		▲ 26.7	(3)	10.0	€.	▲ 46.2	J	▲ 25.4	J	▲ 22.1
	令和2年 1~3月期		4 3.3	(3)	0.0	F	▲ 55.0	J	▲ 23.7	E	▲ 30.5
	令和2年 4~6月期	§	▲ 69.0	G)	▲ 25.0	€.	▲ 77.5		▲ 60.3	€.	▲ 58.0
	令和2年 7~9月期	•	▲ 55.2	(J	▲ 20.0		▲ 65.9	E	▲ 54.2	(▲ 48.8
	令和2年 10~12月期		▲ 41.5		▲ 20.0		▲ 64.2		▲ 37.9	F	▲ 40.9
	令和3年 1~3月期		▲ 39.3		▲ 20.0		▲ 53.7		▲ 34.5	F	▲ 36.9
	令和3年 4~6月期		4 0.0		▲ 25.0		▲ 51.2	Ţ	▲ 28.1		▲ 36.1
	令和3年 7~9月期	<u></u>	▲ 13.4	•	4 0.0		▲ 51.2	€.	▲ 42.1	F	▲ 36.7

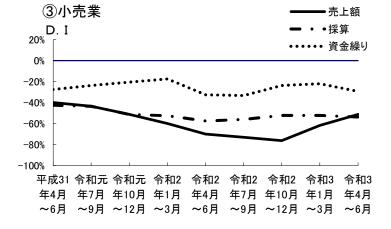
(注1) 業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

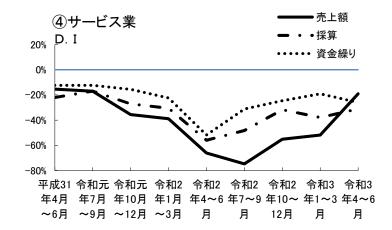
(注2)「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向









〈前期比〉

売上額 : 好転 (▲49.9→▲20.0ポイント) 採算 : やや悪化 (▲36.7→▲43.4ポイント) 資金繰り:悪化 (▲14.3→▲34.5ポイント)

〈経営上の問題点〉(順位と比率)

1位:需要の停滞 (20.0%)

2位:原材料価格の上昇(16.0%)

〈前期比〉

完成工事額:悪化 (▲15.0→▲40.0ポイント) 採算 : やや悪化(▲35.0→▲40.0ポイント) 資金繰り :悪化 (▲ 5.0→▲25.0ポイント)

〈経営上の問題点〉(順位と比率)

1位:熟練技術者の確保難(35.3%)

2位:官公需要の停滞(23.5%)

〈前期比〉

売上額 : 好転 (▲61.9→▲51.3ポイント) 採算 : やや悪化 (▲52.3→▲53.7ポイント) 資金繰り: やや悪化 (▲22.0→▲29.3ポイント)

〈経営上の問題点〉(順位と比率)

1位:購買力の他地域への流出、需要の停滞

(23.1%)

2位: 仕入単価の上昇 (10.3%)

〈前期比〉

売上額 : 大幅好転 (▲51.8→▲19.0ポイント) 採算 : やや好転 (▲37.9→▲31.0ポイント) 資金繰り: やや悪化 (▲19.0→▲25.9ポイント)

〈経営上の問題点〉 (順位と比率)

1位:需要の停滞(31.3%)

2位:利用者ニーズの変化(27.1%)